



TEBUFLOQUIN

水稻用殺虫殺菌剤

トライ[®]K

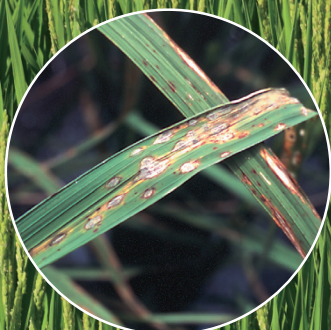
農林水産省
第23411号

粉剤DL

トライは三井化学クロップ&
ライフソリューション株式会社の
登録商標です。

エチプロール・テブフロキン粉剤

いもち病、ウンカ類 斑点米カメムシ類まで優れた防除効果



いもち病



ウンカ類



斑点米カメムシ類

イネいもち病に
高い防除効果
テブフロキン



カスミカメ類に
高い効果
エチプロール



自然に学び自然を守る



“テブフロキンは”
いもち病に
予防と治療
Wの効果

トライ® K 粉剤DL

農林水産省登録 第23411号

殺虫剤分類	2B
殺菌剤分類	U16

有効成分：テブフロキン…1.0%・エチプロール…0.5% 人畜毒性：普通物※

※「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けていない物質を示す。

特長 トライ（テブフロキン）・K（エチプロール）の特長

●“1成分”で予防と治療Wの効果

- トライ（テブフロキン）は既存剤と全く異なる作用性を示すいもち病防除剤です。既存剤と交差耐性を示しません。
- いもち病に対して直接抗菌力を示し、感染を阻害するだけでなく、病斑形成や伸長、病斑上の胞子形成を強く阻害し、いもち病のまん延を防ぎます。

●カスミカメ類に高い効果

- キラップ（エチプロール）は稲のカメムシ類、特に近年問題となっているアカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメに対して優れた効果を示します。また、ウンカ類にも高い活性を示します。

●適用病害虫および使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エチプロールを含む農薬の総使用回数	テブフロキンを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ウンカ類 カメムシ類	3～4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内 (但し、は種時(直播)又は 移植時までの処理は1回以内)	2回以内

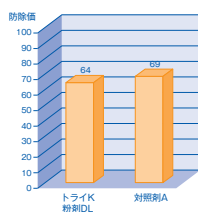
●試験成績

葉いもち(山形県農業総合研究センター、2011年)

【試験場所】 山形県農業総合研究センター：水田農業試験場内
【耕種概要】
品種：はえぬき
播種日：4月20日／移植日：5月17日／出穂期：8月2日
接種試験(接種日：6月27日、7月5日)
【薬剤処理月日・処理量】

	7月11日
トライ K 粉剤 DL	3kg/10a
対照剤 A	1,000倍 150L/10a

【調査月日・方法】
7月29日に各区30株、全葉の葉いもち病斑数及び発病株数を調査し、病斑数から防除値を算出した。



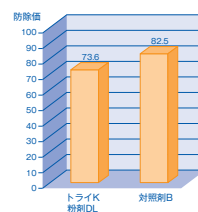
【結果・考察】 …トライ K 粉剤 DL は対照剤 A と比べて同等の効果を示した。

葉いもち(秋田県立大学、2011年)

【試験場所】 秋田県立大学：秋田市上新城松木台 現地圃場
【耕種概要】
品種：あきたこまち／播種日：4月20日／移植日：5月25日／出穂期：8月6日
接種試験(接種日：6月29日)
【薬剤処理月日・処理量】

	7月6日	7月13日
トライ K 粉剤 DL	3kg/10a	3kg/10a
対照剤 B	3kg/10a	3kg/10a

【調査月日・方法】
7月19日に各区30株の上位3葉の株あたりの病斑数を調査した。



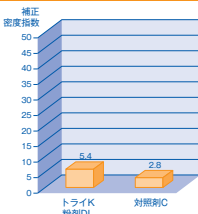
【結果・考察】 …トライ K 粉剤 DL は対照剤 B と比べてやや劣る効果であるが、無処理区に対する効果は認められた。

セジロウンカ((社)埼玉県植物防疫協会、2011年)

【試験場所】 (社)埼玉県植物防疫協会：埼玉県秩父市大田 現地圃場
【耕種概要】
品種：キヌヒカリ
播種日：5月10日／移植日：6月1日
【薬剤処理月日・処理量】

	8月15日
トライ K 粉剤 DL	4kg/10a
対照剤 C	4kg/10a

【調査月日・方法】
散布前日、散布1日後、散布3日後、散布9日後1区3カ所、径36cmの捕虫網を用いてすくい取り10回振りを行い、実体顕微鏡下で種別、幼虫及び成虫別に調査した。



【結果・考察】 …トライ K 粉剤 DL は対照剤 C と比べてほぼ同等の効果を示した。

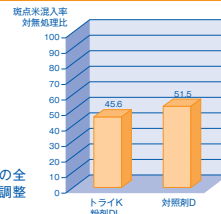
カメムシ類(青森県産業技術センター、2011年)

(アカヒゲホソミドリカスミカメ主体)

【試験場所】 青森県産業技術センター：農林総合研究所圃場
【耕種概要】
品種：つがるロマン
播種日：4月18日／移植日：5月26日／出穂期：8月5日
【薬剤処理月日・処理量】

	8月8日(穂揃期)
トライ K 粉剤 DL	4kg/10a
対照剤 D	4kg/10a

【調査月日・方法】
斑点米について9月30日、各区周辺部(両側3条、前後3m)を除いた中央部の全株の約半数の株から、株当たり1本の割合で、穂を抜き取り、常法により乾燥・調整し、1.9mmの篩をかけてから、全粒を調査した。



【結果・考察】 …トライ K 粉剤 DL の防除効果は対照剤 D と比べて優った。

⚠ 使用上の注意

- ①できるだけ飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ、見かけ比重がやや大きく流動性があるので、散布の際は散粉機の開度を1目盛程度しぼって散布してください。
- ②野菜類の幼苗及び新葉、果樹類に対して葉害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。
- ③蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。桑にかかった場合には7日以上経過してから給桑してください。
- ④ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
 - ②関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- ⑤使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

⚠ 安全使用上の注意

- ①誤食などのないよう注意してください。
 - ②眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
 - ③散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗顔・うがいをするとともに衣服を交換してください。
 - ④作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
 - ⑤かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
 - ⑥水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 保管…密封し、直射日光を避け、冷蔵・乾燥した場所に保管してください。

1. 使用前にラベルをよく読んでください。
2. ラベルの記載以外には使用しないでください。
3. 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
4. 使用後の空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう、適切に処理してください。
5. 防除日誌を記入しましょう。

